

第4学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和8年6月24日 5校時

1 単元名「染め物名人」

2 本時のねらい

- 今までの染料作りで探究してきたことを生かし、課題を明確にした上で、作り方を試行錯誤しながら身近な材を使った染め物活動の楽しさを味わう。

3 教師の願い

- 学校にある植物や生活の中から発見できるものから染料を選び、どのようにすれば色をきれいに染めることができるかを一人ひとりが考え、さらに「染め物」に対する探究心をもち、楽しんでほしい。
- 3年生の時の大豆食品作りで、よりよくするための様々な方法を考え、繰り返し作った経験を生かしてほしい。
- 友達と意見交流をしながら活動したり、参観者からの問いに答えたりと、積極的に関わってほしい。

4 前時までの活動

- ① 今年度の総合的な学習の時間のテーマ決め。(子どもたちと探究し続けられる材にしようと話し合いをした結果、「染め物」に決まった。)(5月14日、21日)
- ② 染め物について知ろうと積極的に下調べを行い、染め方の種類やコツを学級全体で共有した。(5月27日)
- ③ 材の決定後、実際に染め物経験をすべく、6月3日に豆乳の下地処理から体験していった。
- ④ 給食室から頂いた「たまねぎの皮」と学校の敷地内から採取した「くわの実」を染料とし、第一回を6月4日におこなった。
- ⑤ 豆乳の下地処理の経験を通して、薄く染めることに挑戦してみたいという子どもの思いもあり、下地処理を行う子どもと、あえて行わない子どもに分かれた。(6月18日)
- ⑥ 本時の染料の材料を採取、調達し、6月19日に1度、染料を取り出す練習を経験した。
- ⑦ 当日の工程を確認し、本時に備えている。

5 本時の展開(8/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等 評…評価
植物とドリップコーヒー粉を染料にして染める活動しよう!	
1 本時の流れを確認する。 C:前回とちがった色を染めたい。 C:先生方にも活動を見てもらいたい。	○見通しをもって計画的に取り組むように声掛けをする。
2 グループに分かれて作業開始。 C:染料につける時間を延ばしてみようかな? C:下地処理をしたから着色の変化がありそうだね。 C:サクラの葉はこんな色になるんだ。 C:次はもようを付けたいな。	○ビニル手袋をして手に染料が付かないようにするだけでなく、衣服に染料が付かないよう気を付けて活動するように声掛けをする。 ○友達や先生方に見てもらって感想を聞いたりアドバイスをもらったりし、次の活動に生かせるようにする。
3 完成した布を教室に干す。 C:水洗いすると薄くなっちゃった。 C:前回よりも濃く色が付いた。 C:乾いたあと、色が抜けないといいな。 C:友達のグループと比べてどうかな。	○次の活動で生かせることはないのか、考えられるような声掛けをする。 【評】これまでの探究を生かして、染める工程を自分なりに考えながら行動している。
4 片付けをする。	【思・判・表】(観察)

5本時の活動を振り返り、次時の計画を立てる。

C:もっと大きな布で染め物をやってみたい。

C:もようを付けてみたい。

C:藍の葉が育ってきているので、先生のやっていた
Tシャツ染めをやってみたいな。

○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。

【評】今回の活動を振り返り、次時の活動内容やめあてを立てることができる。

【思・判・表】(観察・ロイロノート)

6 予想される今後の展開

- ・下地処理の大切さに気づき、昨年度の経験を生かして、下地処理に必要な豆乳を手作りする。
- ・別の植物、特に葉は全て同じ色に染まるのかを探究的に学習する。
- ・本で読んだように、割りばしや輪ゴムを使って絞りなどの模様を付ける活動をする。
- ・大きな布を染めるため、染料を大量に作る活動をする。
- ・今、学校に生えていたり、育ていたりする植物以外の植物を育て、染め物をする。